

ワークショップ

回す 飛ばす 操る 駆ける

けん玉・皿回し・中国コマ・日本コマ・鬼ごっこ

【日時】4月24日(日) 13:00~

【場所】富山大学 学生会館

【参加者】約80名

【担当】早川隆志

【協力】皿回し喜楽塾 富山子ども劇場

富山大学大道芸クラブ NPO 法人 富山・イ
タズラ村・子ども遊ばせ隊



このワークショップは、分科会A「アナログな遊びの可能性」と連動して企画した。

13:00 遊びの紹介とパフォーマンス

13:30 遊びのコーナー (①皿回し ②ディアボロ(中国コマ) ③けん玉 ④沖繩の指ハブ作り ⑤独楽(日本) ⑥

鬼ごっこ) ⑦ペーゴマ)

アンケートから声を拾いながら今回の企画の意味を考える。
まずは人の声だ。

A氏 夢中になって遊ぶことで、初めて出会った方とも心が通じ合う感じがしたし、ただただ楽しかった。良い気分転換になりました。

B氏 純真な大人ほど上手く遊べる。

C氏 できたときの喜びやできないときの悔しさで、「もう一回」と思う心が自分でも楽しかった。面白い時間でした。

D氏 鬼ごっこ 走り回るだけでなく、周囲を見渡す力、選択や判断する力などを育てることもできるんだと再認識できました。

E氏 鬼ごっこで知らない人と親しくなれるなんて不思議な感じがしました

E氏 ちら見え鬼ごっこ 見ているだけでも楽しかったです。

F氏 中級の皿回しに挑戦しました。今回はできませんでした。がんばります。

G氏 どれも簡単そうに見えて難しい。単純なものほど奥が深いとよく言われるが、どの遊びにもそれが当てはまると思った。

次はこどもの声。

Aちゃん ディアボロのおにごっこが、またやりたいです。もう、やりたくてとまらんくらい楽しかったです。

Bちゃん おにごっこがたのしかった!(15人)

Cちゃん ディアボロがいちばんたのしかった。

Dちゃん 中級の皿回しができて嬉しかったです。

Eちゃん ペーゴマが対戦できて楽しかったです。2種類の巻き方を教えて頂いて良かったです。ありがとう ございました。

Fちゃん 指ハブ作りが楽しかったです。

※アンケート用紙が40枚集まりました。子ども16枚、大人24枚。ア、大変良かったが32 イ 良かったが8枚だった。

(早川たかし)



皿回しで遊ぶ

